R７．８．26　研修参加者アンケートのまとめ

Ａ：本日の研修で印象に残ったこと・内容をご記入ください。

【園関係者】

1.子どものウェルビーイングと権利の大切さ

・子どもの権利は「生まれた瞬間からあること」「大切にすべきこと」であり、アタッチメントを土台に「安心して挑戦して遊ぶ」ことが重要だと学んだ。

・「安心できないと子どもは挑戦しようとしない」という言葉が印象的で、安心できる環境づくりの大切さを改めて感じた。

・自己選択・自己決定が自己肯定感・自己有用感を育み、ウェルビーイングにつながるという考えが心に残った。

2.ドキュメンテーションによる学びと振り返り

・要点や記入内容を考えながら作ることで、子どもにも保育者にも良い振り返りになると改めて感じた。

・ドキュメンテーション作成を通して、「10 の姿」や主体的・対話的な学びの視点で保育を振り返ることができた。今後も意識して続けていきたい。

・写真を見ながら話すことで、園での活動の説明がしやすく、伝わりやすいと感じた。

3.小学校とのつながりと学び

・小学校の生徒指導提要を見る機会がなかったので、知ることができて良かった。

・小学校の先生と交流し、授業の様子や考え方を聞くことができたことが貴重な経験だった。

・小学校の活動写真から、子どもたちの成長や生き生きとした様子が伝わり、小学校生活の充実が感じられた。

4.保育の振り返りと今後への意識

・クラスの子どもたちが幸福感をもって園で過ごせているか、保育を振り返り、改めて考えるきっかけになった。

・「安心」「自己肯定感」「やってみたい気持ち」を園と小学校でつなぐことの重要性を実感した。

【小学校関係者】

1.こども園の先生方の姿勢と視点の高さ

・こども園の先生方が子ども一人一人の思いに寄り添い、それを実現するための環境整備や言葉がけを丁寧にされていることが分かった。

・子どもの学びを生徒指導提要と結びつけて考える機会となり良かった。

2.ドキュメンテーションを通じた交流、意義と活用への理解

・ドキュメンテーションを見ながら、こども園の先生方や校区の小学校の先生と情報共有できたことが良かった。

・ドキュメンテーションの意義についてよく分かった。

・これまでもクラスの掲示物として、写真やコメントを教室に掲示してきたが、今までとは違う視点での掲示の意味が分かった。

・ドキュメンテーションを作ることにより、細かい部分の子どもたちの頑張りにも気付くことができた。子どもたちのことを深く振り返る機会となった。

3.子どもの育ちと教育環境への思い

・子どもたちが安心･安全に過ごせる環境づくりの大切さについて、改めて考えた。

・こども園のドキュメンテーションを見ることができ、伸び伸びと活動し遊びが発展しているなぁと羨ましく感じた。小学校も、時間がつくれないか改めて考えようと思った。

・「はじめの 100 か月の育ちビジョン」「生徒指導提要」の理念、子ども一人一人のウェルビーイングの向上を目指して、学校経営、学級経営を進めていきたいと思った。

・園での遊びを通して学んだ力を小学校の学びにつなげて、楽しく安心して学べる環境づくりに努めていきたい。何より、子どもの自己有用感を感じられる学校教育活動を行っていきたい。

Ｂ：本日の学びや気付きを生かし、今後どのように取り組もうと思われますか。

【園関係者】

1.ドキュメンテーションの活用と工夫

・ドキュメンテーションを生かしていきたい。
・今後は、ドキュメンテーションの内容や表現方法をより工夫していきたいと感じた。

2. 子ども一人一人のウェルビーイングと自己肯定感の育成

・子どもたちへの声かけの見直しや、幼児期から育つウェルビーイングについて考えていきたい。
・子どもたちが大人になってからも幸せに過ごせるように、そして自己肯定感が高まるように、認めることをよりしっかりとしていきたい。
・子どもたちが充実感を得ながら、自信をもって過ごしていけるように援助していきたい。

3.保育の質の向上と子どもへの関わり方の見直し

・幼児期の大切な時期、子どもたちへの関わり方を改めて意識していきながら、安心して力を発揮したり挑戦したりできる子どもたちを育てていけるよう、保育していきたい。
・主体性を心がけて保育しているが、学びや気付きの視点など子どもが「どこを求めているのか」を考えて保育を進めようと思った。
・子どもの遊ぶ姿を単に見るだけでなく、どんな風に考えているのか、何をしようとしているのか等考えながら見ることで、その子の育ちや成長がより見られると思った。

4.情報共有と連携の強化

・園での活動が小学校での活動につながっていることを実感できた。子どもたちの発見、気付きに耳を傾け、好きなことを保育に取り入れいきたい。
・小学校の先生と話をさせていただいて、改めてアプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの相互理解が大切だと思ったので、小学校の先生方と話す機会を増やせるようにしたいと思った。

【小学校関係者】

1.こども園との連携と学びの継続

・こども園で大事にされていることを引き継げるところで引き継いでいきたい。
・園での取組についてもしっかり交流できたので、継続して小学校でも取り組んでいきたい。
・こども園での取組で子どもたちが身に付けた力を小学校入学後もいろいろな場面で伸ばしていけるよう、関わっていきたい。

2.子ども主体の学びとつながりを意識した教育の工夫

・課題を考える時に、つながりを意識することを大切にしようと思った。
・どの教科学習においても、子ども一人一人が「これをやってみたい」という思いをもつことができ、それを試し、試行錯誤する時間をできるだけ多く確保できるよう学習計画を見つめ直したい。
・子どもの対話や体験的な学びを、今後さらに大切にした取組をしたい。

3.ドキュメンテーションによる学びの見える化と保護者との連携

・ドキュメンテーションも生かし、学びを目に見える形にして子どもたちと一緒に楽しんでいきたい。
・１年の活動の記録をドキュメンテーションで残していこうと思った。
・ドキュメンテーションを小学校でも取り入れて、子どもの活動を分かりやすく、「見える化」していきたい。
・毎日、学級通信を出しているので、今後も続け、保護者との連携も大切にしていきたい。